



Ritsumeikan
Asia Pacific University



H棟 - 大学院棟新築工事竣工記念

2003. 02. 26

学校法人 立命館

ごあいさつ

学校法人立命館 理事長 川本 八郎

立 命 館 総 長 長田 豊臣

立命館アジア太平洋大学大学院棟の竣工にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

立命館アジア太平洋大学は、立命館学園の建学の精神である「自由と清新」、教学理念である「平和と民主主義」を発展させ、一私学として微力ながら日本の高等教育の国際化を推進させたいという志のもと、「自由・平和・ヒューマニズム」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念とし、2000年4月に開学いたしました。各界の皆様方のご理解、ご支援を賜り、65の国・地域から1,261名の国際学生を受け入れ、真の国際大学を目指し、歩を一步と進めて来ております。

今日、アジア太平洋地域の発展が世界経済に与える影響は極めて大きく、21世紀は「アジア太平洋の時代」であることが現実のものとなっています。アジア太平洋地域では、急速な技術革新や経済社会の高度化、複雑化、グローバル化のもとで、持続的な発展を図ることが求められており、発展過程のなかで生起する諸課題に対応するため、より高度で先端的な「アジア太平洋学」の構築が必要となっています。同時に、この地域が内包する諸課題を解決しうる高度な専門性を有する人材の育成が急務となっており、これらの課題に応えるため、2003年4月に立命館アジア太平洋大学大学院として「アジア太平洋研究科」と「経営管理研究科」の二つの研究科を開設する運びとなりました。私どもは、この大学院棟を「アジア太平洋学」の拠点とし、新しい教学創造と人材育成をめざし、積極的に取り組んで参る所存です。

最後になりましたが、設計・監理をご担当いただきました株式会社山下設計様、施工をご担当いただきました戸田建設株式会社様、梅林建設株式会社様をはじめ工事関係者の皆様方に、学園を代表いたしまして心から御礼申し上げます。

立命館アジア太平洋大学大学院棟の竣工にあたり、ご挨拶申し上げます。

A P U大学院は、国際社会を舞台に、アジア太平洋地域が内包する問題を実践的に解決できる政策志向の人材を養成し、このことを通じて、アジア太平洋地域における経済社会の発展ならびに産業育成に貢献することを目的としています。また、我が国政府が各分野で行っている国際協力の一環である人材養成分野（国際教育協力）において、その一端を担うことをめざすものであります。

立命館アジア太平洋大学は、2000年4月の開学以降、国内学生と留学生が半数ずつという国際性豊かな学生構成の特色を活かして、学部教育を通じて、「アジア太平洋時代の人材養成」「『アジア太平洋学』の構築」「産業・地域との協働」という基本目標を着実に実践してきております。

グローバル化の中で経済社会の発展に貢献できる人材の養成は、本学の基本課題であり、社会の高度化に高等教育機関としての積極的な貢献をめざすものであります。大学院設置は、本学の理念を一層具体的に発展させるものであり、「アジア太平洋時代の人材養成」という基本目標を一層高いレベルで実現し、高等教育機関としての社会的責務を果たすものと確信いたしております。

A P U大学院棟建設工事遂行にあたり、計画どおりこれを完成いただきました設計監理の株式会社山下設計様、施工の戸田建設株式会社様、梅林建設株式会社様ならびに多くの協力企業各社の皆様方に、ここに衷心より感謝申し上げますとともに、今後とも本学に対しまして皆様方の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



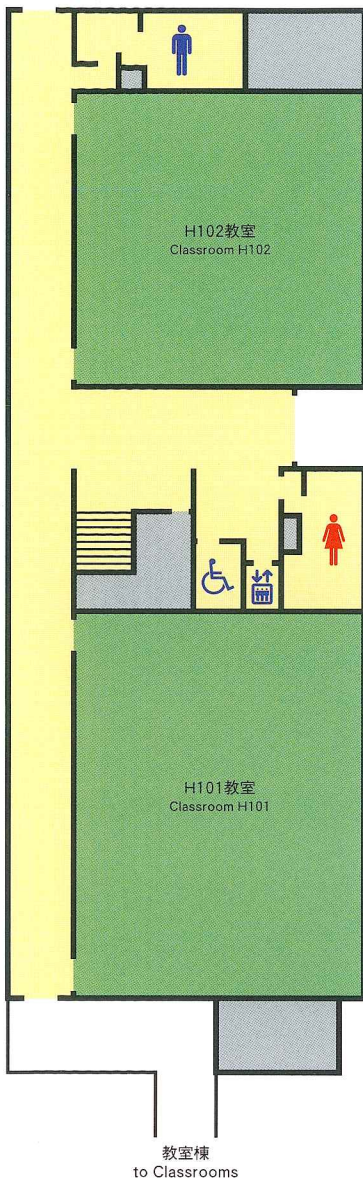
別府湾からAPUを望む

キャンパス配置図

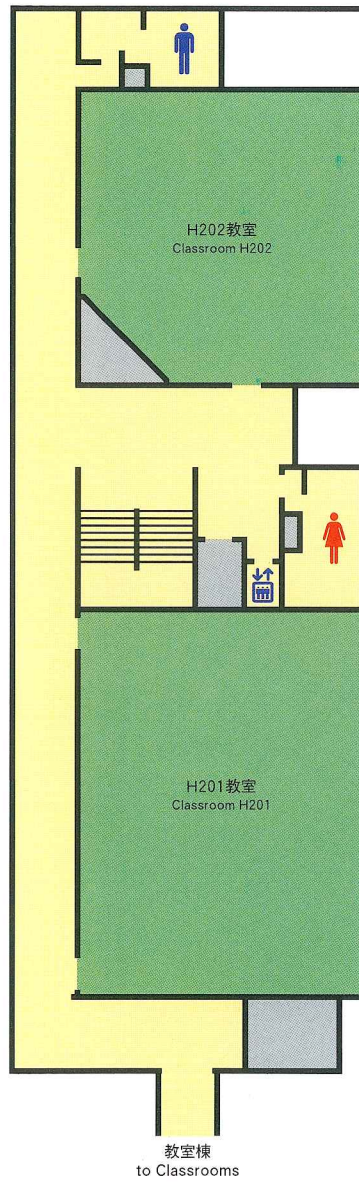


建物平面図

1 F



2 F

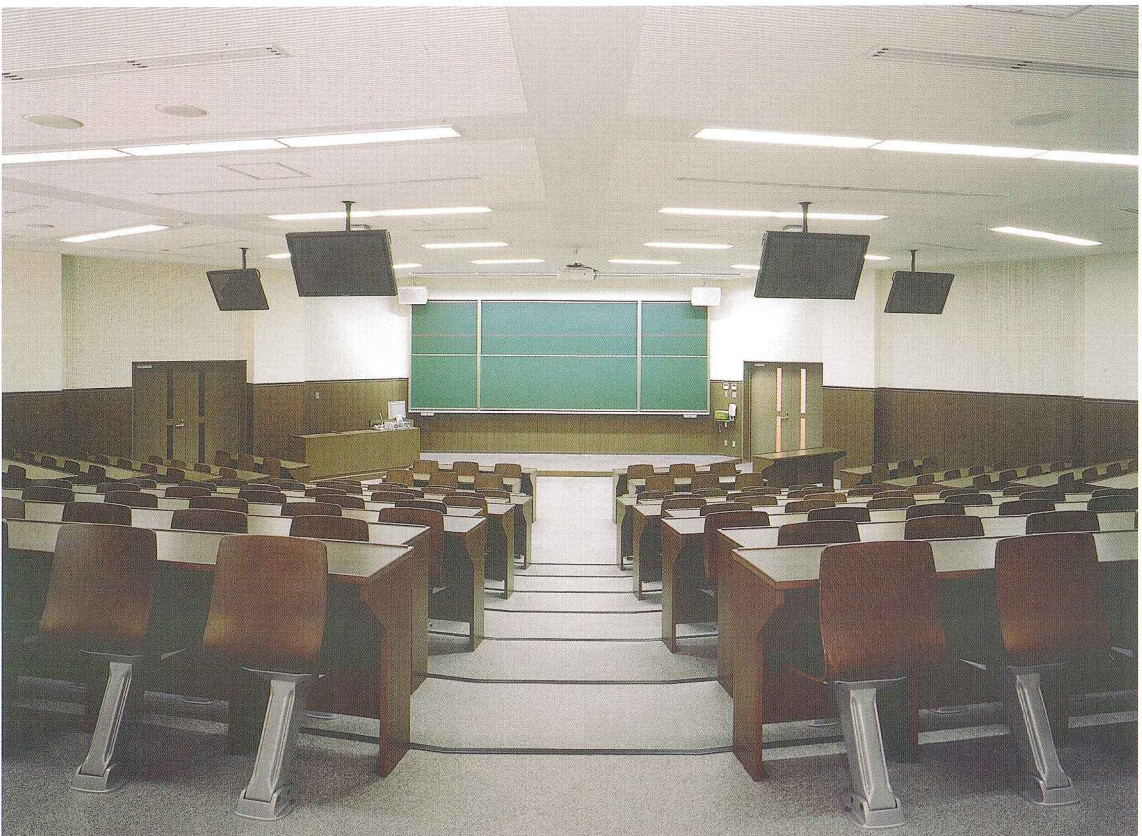


3 F





階段教室



階段教室



300名教室



個人研究室



湯山展望台よりキャンパスを望む



玄関



建物全景



キャンパス全景航空写真

竣工のごあいさつ

株式会社 山下設計 代表取締役社長 横山 孝治

このたび立命館アジア太平洋大学大学院棟がめでたく竣工の運びとなりましたことを心からお慶び申し上げます。今日この良き日を迎えましたことは、ひとえに学校法人立命館ならびに大分県、別府市関係各位の終始熱意あるご指導の賜物と厚くお礼申し上げます。

開学4年目を迎えられる立命館アジア太平洋大学は、60を超える国と地域から学生が集い、国際大学としてふさわしいキャンパスに充実されております。今回の工事は、さらに高度な教育を実践され優秀な国際人を育成されるために設置される大学院の新しい学舎を建設するものであります。

本計画は当初のマスタープランを基本に、キャンパスをひとつの都市としてとらえ、既存建物との融合、周辺環境との調和に配慮しながら、将来にわたって成長し続けるキャンパスをめざしております。

このような立命館アジア太平洋大学大学院棟新築工事に、開学当初より引き続き参加する機会を与えていただきましたことに対して、あらためて感謝申し上げます。また本工事遂行にあたり、厳しい自然環境と短い工期の中、高度な技術と弛まぬ熱意をもって見事に完成されました施工会社各位に心から敬意を表するものであります。結びに、立命館アジア太平洋大学の益々のご発展をご祈念申し上げまして、竣工のご挨拶とさせていただきます。

竣工に際して

戸田建設株式会社 代表取締役社長 戸田 守二

この度、立命館アジア太平洋大学（APU）の大学院棟建設事業がめでたく竣工の運びとなりましたことは誠に喜ばしく、施工者を代表して心よりお慶びを申し上げます。

21世紀は「アジア太平洋の時代」と言われておりますが「アジア太平洋地域を舞台に世界で活躍する人材を育成する」という建学精神のもと、APUはその人材育成の拠点として設立以来大きな役割を果たして来られました。この度の大学院の設立により、今後の更なる充実や発展に対して多くの方々の期待が寄せられているものと思います。

この極めて意義深い事業に、株式会社山下設計様の設計・監理の下、戸田建設・梅林建設共同企業体として参画できましたことは誠に光栄なことであり、学校法人立命館様ならびに関係各位のご指導ご支援によりまして、ここに無事建物をお引渡し出来ましたことを施工者一同深く感謝申し上げます。

立命館アジア太平洋大学並びに大学院が、わが国の国際的地位の向上と地域の発展推進へ大いに貢献され、今後ますますご発展されますことを祈念致しまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

工事概要

設計監理	株式会社 山下設計 関西支社
施 工	代表会社 戸田建設 株式会社
建築工事	戸田建設 株式会社 梅林建設 株式会社 共同企業体
(協力企業)	電気設備工事 株式会社 九電工
	空調設備工事 株式会社 九電工
	給排水衛生設備工事 株式会社 九電工
	昇降機設備工事 柳井電機工業 株式会社(株式会社日立製作所)
電話設備工事	協和テクノロジーズ 株式会社
情報設備	株式会社 ニッセイコム (株式会社 日立製作所)
機器・備品	株式会社 クレオテック
(協力企業)	愛知 株式会社 株式会社 岡村製作所 株式会社 コトブキ
工 期	起 工 式 2002年 5月18日
	建物竣工 2002年12月25日
	外構工事完了 2003年 1月20日

建物構造規模

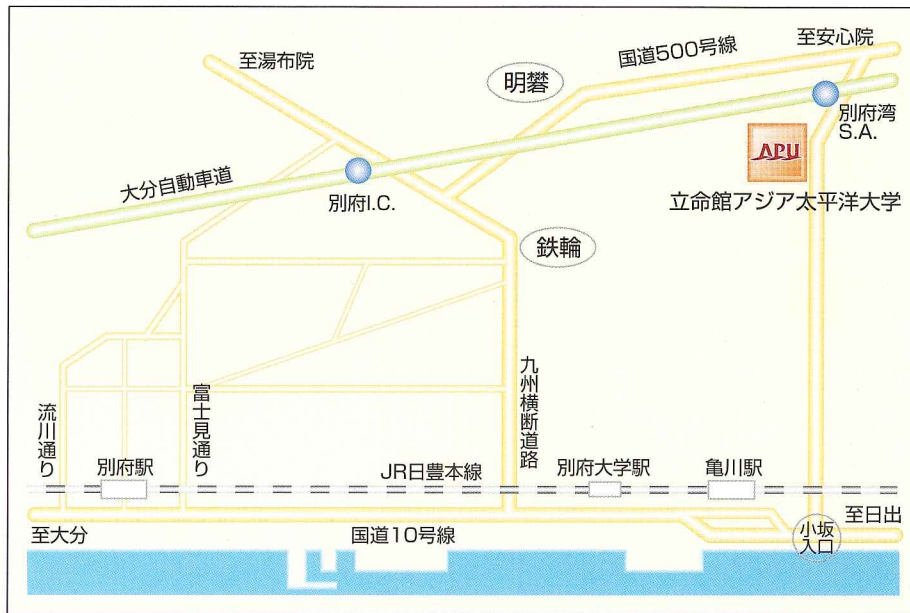
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 3階		
面積	建築面積	1,081.73m ²	
	延床面積	2,576.28m ²	
	各階床面積	1階	1,021.69m ²
		2階	1,064.68m ² (渡り廊下含む)
		3階	489.91m ² (渡り廊下含む)

施設概要	1階 教室 (300名1室、200名1室)
	2階 教室 (300名1室)、階段教室 (154名1室)
	3階 個人研究室10室、コピー・プリンタコーナー



定礎揮毫 坂本和一 (立命館アジア太平洋大学長)

付近見取図



学校法人 立命館

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL (075) 465-1111

立命館アジア太平洋大学

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
TEL (0977) 78-1112